

SLA通信

第30号

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8

(財)シニアルネサンス財団内

TEL 052 332 7883

平成15年度をふりかえって

中部シニアライフアドバイザー協会

会長 浅野 澄子

平成15年度も残りわずかとなりました。会員各位のご協力をいただきまして諸活動を続けてくる事が出来たことを心から御礼申し上げます。

創立10年目という一つの節目でもあった今年度は、当協会の活動も社会にゆるやかではあるが注目視されてきていると思いました。昨年12月に開催されたシンポジウム『高齢者の生活を専門分野の枠を超えて支える総合・学際的ネットワークを結ぼう』に出席しました折、わずかながら社会に認知されつつあることを肌で感じました。今後は皆様が長年に培われてこられた経験と能力をいかし、充分ご活躍されて、協会の発展にご協力いただける事を願っています。

さて今日迄の活動を振り返ってみますと、多様な催物に集い、交流することにより積極性が生まれる事を期待していましたが、現実の厳しさに直面し、考え方の甘さ、自身の力不足を痛感した次第です。

また当協会は会員の高齢化も含めて会員の減少をたどりつつあり、将来にむけて何か方策を考慮する時期にきているのではと思案しています。何かよい方策があればご教示いただきたいと思います。

たとえば (1) 協会の活性化・・・ 体質を改善する方向

会員増をはかる、等

(2) 対外的活動の推進・・・ 電話相談

講演会

講師派遣、等

(3) 内的活動の楽しさ・・・ 交流会

情報交換会

悠遊会(仮称)の登録、等

これらはすべて人的要素が含まれています。コミュニケーションの大切さ、話すことにより人の気持ちを理解し合える喜びなどから新しい道が開けてくるのではないのでしょうか。

また昨年、関東SLA協会はNPO法人を設立されました。他の協会も足並みをそろえようと努力され

ておられる様子がうかがえます。当協会も近い将来考えざるを得ない課題であると思います。

今後も協会発展の為に皆様からの熱いご意見とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に最近ふと目にとまった詩を書いて終わります。絵筆を口にして書かれた星野富弘著「花よりも小さく」の詩画集より抜粋。この作品の絵と花々を通じて心のやすらぎを与え、人間の愛おしさ、素晴らしさをうたい、世界の人々に感動を与えています。

冬があり 夏があり
曇と夜があり
晴れた日と 雨の日があつて
ひとつの花が 咲くように
恋しみも 苦しみもあつて
私が私になってゆく

年次総会のお知らせ

1. 日時

平成16年4月17日(土)

午後1時30分～午後4時まで

2. 場所

NPOなごやライフプラザ(右図参照)

12階 第1研修室

住所:名古屋市中区栄一丁目23番13号

地下鉄伏見駅6番出口より南へ徒歩8分

(中消防署のあるビルです)

3. テーマ

(1) 第1部

年次総会

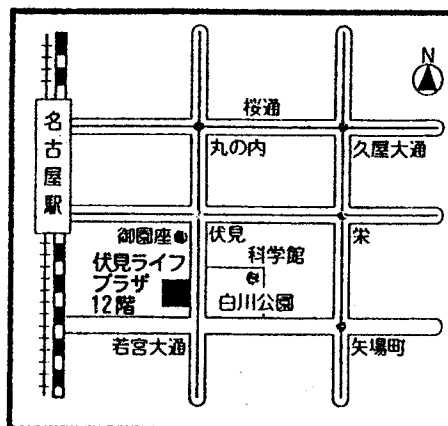
(2) 第2部

会員によるアトラクションを企画しています。

是非、参加、出演してもよい方 お申込み下さい。

TEL・FAX 0568-22-1487 浅野迄

●交通案内



平成16年度幹事の立候補及び推薦のお願い

平成16年度を迎えるにあたり、幹事への立候補、及び推薦についてお願い致します。

同封のはがきにその内容をお伝えしています。

ご記入の上、2月末日までにご投函ください。

創立 10 年目・記念講演会 テーマ「痴呆になった 波平」に参加して

5 期生 田中 芳雄

創立 10 周年記念行事で講師としてお迎えするのが、かねてから、中日新聞で愛読している 渡辺哲雄先生と知り、これは是非とも、拝聴せねばと、当日の他の予約をキャンセルしました。

文面から感じられる、暖かい考え方や、シニアの考えている事をすべて知り尽くしているようで、歳は幾つくらいの方だろうか？という興味がありました。

お話を聞いて、そのお人柄が話術に活かされ、さすがに、聞き手をうまく引っ張って、厭きさせない話し方に感心しました。

ご自分の、身の回りから話題の展開をされ、あまりにも、スムーズな流れでしたので、逆に、その場では、「なるほど」と感心したことが、5分もたつと、何だったかな??でした。講師の話し上手だけでは無しに、当方の記憶減退に重大な責任があるのを忘れ、「テーマ」の波平が痴呆になる過程も、よく思い出して考えないと判らない始末です。

最後に、今回お聞きして、1点だけ、心に残ったのは、「人生は織物だ、縦糸は、自分の生命力。横糸は、他からの条件」と言う言葉で、自分というものは、他の力が無いと、維持できないんだと痛感しました。日常流れている生活の中ではあまりにも見落としているので、これからは時々思い出すように心がけたいとおもいます。

2 期生 木藤 洋子

当日参加して下さった方から、非常に役に立つと思うので、老人問題について話し合いたいので参加してほしいとの要望があり、出席しました。

渡辺先生の知名度が高かったので早い時間から充実した話し合いとなり、心の本音の部分が汲み取りやすかったように思いました。30代から80代と幅が広がったのですが(女性10名)その年齢に応じた問題が具体的に述べられました。

サザエさん一家は失われた日本の良き家族関係が中心に描かれてありますが、参加者は十人十色、それぞれ悩みは尽きない次から次へと沸いて来るが、心の安定を保ちたい、そのために何をどう対処してゆけば安らかな生活が得られるのか、と話の中心が移ってゆき、最後に司会者が「健康は智恵、よく寝て疲れを残さず、月々日々生き生きと、仲良しをたくさん作りましょう。」と挨拶がありました。

特に印象深かったお話を・・・

65才独身、世話になれる人がいない。家も無い。もちろんお金もなく少々の年金だけで生活してゆかねばならない。亡くなった母親が、老人ホームに入るのは恥なのでやめてほしいと云われたと悲しんでいられたのです。

“時代は変わって来ていますよ・・・”と励ましてさしあげたかったのですが・・・

幹事会からの報告

1. 平成16年 1. 2. 3. 4月活動予定

1月17日(土) 第9回幹事会(済)

2月7日(土) 第10回幹事会

SLA通信第30号発行

2月20日(金) 尾張部会ノリタケの森見学と体験

2月21日(土) 名北部会 例会

3月6日(土) 第11回幹事会

3月17日(水)～21日(日)

第8回シニアアートフェスティバル 申込み締切り3月10日(水)

3月27日(土) } 全国一斉電話相談110番

3月28日(日) } テーマ『熟年生活の不安と悩み110番』

4月3日(土) 第12回幹事会 総会のご案内

4月17日(土) 中部シニアアドバイザー協会通常総会

2. 岐阜部会 パソコンで旅計画をたてよう(12月～3月)

ネットワークを広げて生活をたのしもう(12月～3月)

3. 活動のご案内(別紙)

パソコンチーム教室について

第8回シニアアートフェスティバルについて



部会だより

名北部会

代表 加藤鋸美

例会開催

平成 16 年 2 月 21 日 (土) AM 11:30~

加賀屋 (JR セントラルタワーズ 13F) にて

新年の懇親会を兼ねて、本年度の反省と今後の活動に向けての話し合い
その他

尾張部会

代表 田中芳雄

今年度最後の行事計画のお知らせ

見学先 「ノリタケの森」 場所 名古屋市西区則武新町 3-1-36

名古屋駅より 徒歩 1.5Km

地下鉄東山線 亀島より 徒歩 0.5Km

日時 2月20(金) 現地集合 10:30 正門内 駐車場

内容 工場見学とクラフトセンター (有料) 体験コーナー

当日 マグカップの絵付け体験をします。

参加費 食事 ランチ 1800円 地下鉄 東山線 亀島駅

入館料 (工場見学) 500円

絵付け体験教室 (予定) 1000円

(14 年度より協会からの補助金「限度 1 万円迄」が申請により支給されますので、通常参加で 1,500 円 (一人当たり) 掛りますが、絵付け体験は上記のような予算で計画いたします。

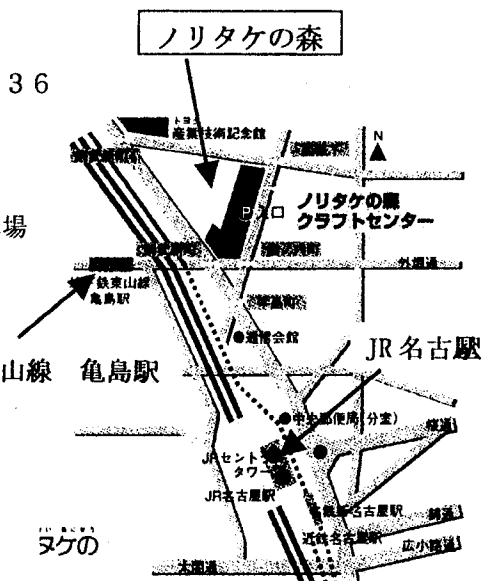
但し、補助金は尾張部会員以外の参加者 (他部会、又は SLA 会員以外) が対象になりますので、会員以外の人を 7 名以上勧誘しましょう)

* 他部会の方や、SLA 以外のお友達の参加を歓迎します。

* 参加希望の連絡先は 2月10日までに下記へ

TEL・FAX 0586-62-8178

E-Mail yosi_tnk@ybb.ne.jp



岐阜部会

代表 尾関恵子

SLAの活動を始めて

「昨日で、女房の百箇日が済みました。一人で居るとボケてしまうので、【生活を楽しみましょう】のお仲間にしてください。」とのお電話。

【生活を楽しみましょう】は、岐阜部会が始めた男性向け講座。どうしても退職された男性は家に引きごもりがち、家で濡れ落葉扱いの男性を引っ張り出してグループ作りをして、ボランティア活動等に参加して頂こうと始めた講座。

男性手芸に始まって今月は陶芸、全然初心者ばかりでしたが、粘土をこねて葉を押し付けて作ったお皿、皆様子供に帰った様に生き生きとしてペタンペタン、焼き上がりが楽しみ、最後は先生に拍手、先生の嬉しそうな顔（先生も講座の仲間で、ボランティアです。）私も嬉しくなって心の中でバンザイをしていました。来月は手品教室。いよいよグループ活動を色々始めようと、夢はふくらんで行きます。

岐阜部会が本格的活動を始めて2年、本当に皆様の支え、ご協力と岐阜部会実質4人のスクラムによって今日までやってまいりました。岐阜でのSLA活動のきっかけは、岐阜市の女性センターのイベントへの参加でしたが、私個人の気持ちは正直言って、財団の河合さんへの意地でした。創立記念日にさんざん言われた悔しさをバネにして頑張ろうと始めたのですが、今は反対に活動を始められた事に感謝いたしております。

思い起こせば2年前、活動資金があるので積立金を廻してと提起して却下され、その代わり、3代の会長さんはじめ皆様が陰になり、日向になり手を差し伸べてくださいました。本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。今後ともよろしく願い致します。

この感謝の気持ちと、SLA活動の楽しさを、会員の皆様にお伝え致したく筆を取りました。私達岐阜部会は始め「生き生き教室」として、手芸教室、パソコン教室、絵手紙教室等、皆SLA会員の皆様が先生になって、口込み、電話、市の「こらぼ講座」への参加等で人集めをして、それを土台にして講演会の開催をしております。

SLA活動を通して会員以外の人達と知り合い、皆様の楽しそうな顔を見、又相談等を受けておりますと、SLA活動は人の為ではなく、自分の為なのだと今更の様に思います。皆様も活動を始めてみませんか。



和 わ 輪

バトンタッチされた方は、次の号でSLAの仲間に渡してください。(原稿は400字程度)
気楽にリレーを楽しみましょう。

杉浦玲子さんから

昨秋、業界の横浜視察旅行の折、好天に恵まれ往路、復路の2日間かけ、ぐるりと富士山を一周できました。過去何度も眺めてきたのに、違った思いが湧いてきました。

群青色の駿河湾と程よく雪を被った富士山は美しく、東海道浮世絵博物館で見た広重の時代と変わっておりませんでした。夕日に染まってはやさしく、日が落ちて夕闇の中では、間じかに威厳を持って迫り来、早朝冷たい空気の中では凜として立ち、朝日に輝き希望に満ち、遠ざかり振り向けば名残惜しく、感激は今もなお続いております。気高い姿よ永遠であれと願っております。

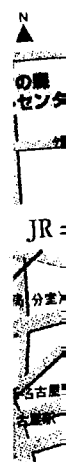
さて、今年が年金改正の年です。保険料負担と年金給付額、若者と高齢者、専業主婦と働く女性、夫と妻の年金分割、高齢者間の高所得者と低所得者と、対比させ、税制と絡め、数値での公平感を論じています。20年後の高齢社会に堪えうる、年金制度のあるべき姿を提示してもらいたいと思っています。改正の度に複雑になる制度の勉強を怠りなく続けていきます。

もう一つお知らせがあります。わが事務所の一階に、昨年11月SLAパソコン教室がオープンいたしました。今泉治子さんはじめSLAパソコンチームの方々が主催されています。別紙チラシをご覧の上是非ご参加ください。

行く行くはSLAサロンとして皆さんにご利用していただくことも考えています。お知恵をお借りしたいとおもっています。

今回は、油田淑子さんにバトンタッチします。

杉浦 玲子



海野十衣さんから

時代の変化というべきなのか、市民の意識がこの三十年でこうまでも変わってしまうものかと驚いたり、戸惑ったりしている昨今です。豊かになって、昔ならば「衣食足りて礼節を知る」だったのが、「衣食足りて悪行を知る」世相になりました。ボランティアで社会貢献を、と言う人も増えていることは確かですが、かつてはボランティアと個人が意識しなくても、それぞれの身の丈に合った地域や困っている人にも手を差し伸べる精神が今より浸透していたように思います。何事も声に出さなければいけなくなったことは、そのことへの危機感の表れなのでしょう。相性の心さえ希薄になり、個人主義が歪曲されてしまったように感じます。誰しもが気軽に手を貸し、見知らぬ子供にも声をかける、次世代につなぐということが今、生きている私達への宿題ならば、人として、日本人としての心を伝え、つなぐのがシニアの役割だと思っています。

地域や社会の信頼関係や品性を取り戻すためにも、今ボランティアやNPOによる市民活動が必要とされているのでしょう。

次は、加藤銚美さんをお願いいたします。

海野 十衣

幹事から一言ご挨拶

・原田志郎

敵前逃亡的 (SLA 幹事様)、拉致被害者的 (家族)、孤独な旅行者的 (私) 転勤により、思わぬ異動で東京に住むことになりました。そのためただでさえお力になれず、お世話ばかりおかけした一年に加えて、この二年目は、SLAの幹事様始め、ひいては会員の皆様にご迷惑をおかけして誠に申し訳ない状況になってしまいました。あと残り数ヶ月何とかできる限りのことをしてまいりたいと考えています。

・森北芙美代

幹事なって2年が過ぎようとしています。それ以前は総会に出るか出ないかと送られて来る通信を受取るだけの状態でしたが、この2年はいろんな学びがあり、貴重な経験ができました。ありがとうございました。

・高梨泰子

年々歳々精神的には若いつもりでも、肉体的にガタがきているのを感じていますが、幹事をとおして、元気、やる気、行動的なシニアの方々とお会いでき、励みをいただいたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

・木藤洋子

『散りぬべき時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人もひとなれ』 作者？

『一身弁じ難く、衆力成じ易く・』 最澄作

1月17日幹事会での一場面、新会員募集のための策を話し合いの最中、僅か5分ぐらいの時間であったと思うのですが、私の心に変化が現われだんだんと澄んだ心持となり、清い気分となりました。こんなに短時間で充実した気を養えるなら、SLA会員の方々も、きっと仲間作りの一環して「文学に親しむ」事だって出来ると思え、提案したいものと思いました。

以前SLAで物作りの話が出ておりました。

最近、自分の将来に必ずお世話になるオムツ作りに加わってほしいと要請をうけて会員(SLA)の一人として始めております。地球にやさしく環境によく低価格である事が条件です。壁にぶつかりずめですが、皆様方どうか相談に乗って頂けたらと念じております。

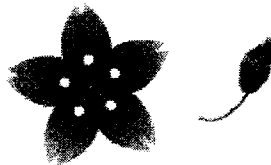
・中島衣代

5年ぶりに幹事として中部SLA協会のお手伝いをさせていただいて居ります。当時に比べますと会員数が二分の一になり、各集会も出席者が少なく、淋しい感じが致します。しかし中には御自分の道を見つけ、活動している方も多くおいでの様です。

協会の目的は、資質の向上、情報交換、親睦そして地域活動とあります。中でも会員相互の情報の収集、報告を今以上に協会が出来る様に、そして各会員の活動が相互協力にまでつながるようになって行く事を願って居ります。先ずは4月の次期総会に、多数のご出席を、そして多くのご意見をお聞かせください。

・小幡淳子

平成15年度の幹事をと、今までSLAの行事に殆ど不参加、幽霊会員状態の私に、声をかけて頂き、SLAの活動が理解出来ればと、軽い気持ちで幹事を引き受けさせて頂きました。この1年幹事会も楽しく、又電話相談も初めて参加致しましたが、世の中淋しく、悩む老人が多く、SLAのメンバーの活躍を感じ、又、色々な行事に感動している間に、1年経ちまた後1年との事。頼りない私ですが、役員の方々と共に楽しんで活動出来ればと思っております。よろしく願いいたします。



SLA

●シニアの生き生きライフを支援する

中部シニアライフアドバイザー協会